

令和5年度第1回木津川市文化財保護審議会 議事録抄録

- 日 時 令和5年8月23日(水) 14時00分～15時30分
- 場 所 木津川市役所第2北別館
- 出席者 委 員 伊東史朗、源城政好、宗田好史、浅田兼弘、三浦孝啓、後藤啓治、
石田正道、関三朗
(欠席委員 増井正哉)
事務局 森永教育長、竹本教育部長、文化財保護課職員4名
傍聴人 1名

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 教育長挨拶
- 4 審議員紹介
- 5 事務局員紹介
- 6 木津川市文化財保護審議会について
- 7 会長、副会長の選出

三浦委員より、事務局から選出するよう発言があった。事務局からは会長を伊東史朗氏、副会長を源城政好氏を挙げた。異議がなかったため、会長を伊東史朗氏、副会長を源城政好氏とした。

8 議事

報告

- ①令和4年度文化財事業報告および令和5年度文化財事業計画について
パワーポイントに基づいて説明。

●令和4年度文化財事業報告

- ・文化財公開管理事業費
指定等文化財修理等補助事業 浄瑠璃寺阿弥陀如来坐像保存修理等
- ・文化財保護事業費
- ・史跡整備活用事業費
史跡椿井大塚山古墳防災施設整備事業
- ・史跡等公有化事業費
史跡恭仁宮跡(山城国分寺跡)公有化事業
- ・市内遺跡発掘調査事業費
- ・埋蔵文化財活用事業費
市内遺跡既存説明板翻訳事業
市内遺跡パンフレット作成事業
史跡椿井大塚山古墳仮設階段設置事業
- ・地域の文化財資料調査活用事業費

- ・歴史文化財基本構想策定事業費
- ・椿井大塚山古墳防災対策事業費
- 令和5年度文化財事業計画
 - ・文化財公開管理事業費
 - ・文化財保護事業費
 - 指定等文化財修理等補助事業 浄瑠璃寺国宝四天王立像ほか1件、特別名勝・史跡 浄瑠璃寺庭園（沖家住宅主屋）等
 - ふれあい文化講座年3回開催（9月・11月・2月）
 - ・史跡整備活用事業費
 - ・史跡等公有化事業費
 - 史跡恭仁宮跡(山城国分寺跡)公有化事業
 - ・市内遺跡発掘調査事業費
 - ・埋蔵文化財活用事業費
 - 恭仁宮周遊ツアー
 - 市内遺跡既存説明板翻訳事業
 - ・歴史文化財基本構想策定事業費

(質疑応答) ⇒ : 委員 → : 事務局

- ⇒令和4年度に登録された吉岡家住宅主尾（国登録文化財）について、周辺植生の手入れができてないように見受けられる。植生の管理、伐採は必要。（宗田委員）
- 所有者が住居としているため、所有者の意向を反映しながら管理を促す。
- ⇒埋蔵文化財活用事業費の市内遺跡既存説明板翻訳事業について、史跡の説明板を多言語化しても、外国人に日本の歴史を理解してもらうのは難しい。工夫が必要。（宗田委員）
- 今後検討する。

②木津川市文化財保存活用地域計画について

木津川市文化財保存活用地域計画概要版に基づいて説明。令和5年7月21日に文化審議会文化財専門部会の答申を受け、同日付で木津川市文化財保存活用地域計画が文化庁長官に認定された。今後、(仮)木津川市文化財保存活用推進実行委員会と(仮)木津川市文化財保存活用地域計画協議会を立ち上げ、文化財活用の担い手を募集し、活用事業等を進める体制を作る。

(質疑応答)

- ⇒(仮)木津川市文化財保存活用推進実行委員会と(仮)木津川市文化財保存活用地域計画協議会と木津川市文化財保護審議会の役割分担は。（伊東委員）
- (仮)木津川市文化財保存活用推進実行委員会は文化財愛護団体などが所属し、木津川市文化財保存活用地域計画に基づく活用事業を担当する。（仮)木津川市文化財保

存活用地域計画協議会は(仮)木津川市文化財保存活用推進実行委員会が行う事業の進捗管理と評価を行う。木津川市文化財保護審議会は木津川市文化財保存活用地域計画の改定に際して意見を聴取する場である。

9 その他

(質疑応答)

⇒指定等文化財修理等補助事業の浄瑠璃寺阿弥陀如来坐像保存修理について、修理報告書の刊行予定はあるか。(伊東委員)

→修理報告書の刊行予定はないと聞いている。

⇒令和5年度文化財保護費の歳出予算は103,052千円であるが、文化財の質量ともに府下有数であるのに予算・人員が少なく、文化財保存施設がない。(宗田委員)

→文化財の保存活用が観光資源・地域振興となりうるよう検討していく。

10 閉会